

地域とともに、子供一人一人を認め、
生かし、伸ばす 北谷小



学校だより

令和3年2月1日
吉川市立北谷小学校
吉川市高富857番地
TEL 048-982-5158
FAX 048-984-5273
児童数 456名

教育活動に関する調査を視る

校長 小林 智樹

保護者の皆様方には12月に『教育活動に関する調査』へご協力いただきありがとうございました。全ての回答に目を通させていただきました。昨年度までは抽出での実施でしたが、すべてのご家庭の意見をお聞きしたいと思い、今年度は全家庭での実施としました。右ページに4段階評価の集計を載せました。当然A~Dの判断基準は家庭によって同じではありませんが、多くのデータが集まることによって読み取れることもあります。具体的に記述していただいたものも含め、項目ごとに内容を振り返ってみます。

【組織・運営】今年度はコロナ禍で、教育活動も制限されるなど影響は大きいものでありました。できなかった内容を代替するものを考えながら各学年で取り組んで来ました。算数の少人数指導は、1クラスの人数が多い3・5年生を優先的に行き、わずかでも密にならない時間を設けました。「持久走大会で、先生が最後の子と一緒に走って、最後まで励ましの言葉をかけてくれている」「少人数学級の雰囲気がとてもよく感じる」という意見をいただきました。反面、教師による指導の差についての指摘もありました。教師も一人一人個性があります。指導技術を向上させるため、経験年数に応じた研修を進めています。環境については、校舎も老朽化していますが、安全点検を毎月行い、修繕が必要な部分に対応しています。清掃指導も無言で集中して取り組むよう指導中です。

【保護者・地域との連携協力】学校に足を運んでいただく機会が減ってしまった分、ホームページでは行事だけでなく子供たちの日常の様子をお伝えしようと思いました。目を通していただいている方が多く励みになります。行事や授業の変更などの連絡がうまく伝わらなかったこともあるので多様な方法でお知らせします。ご意見で「学校は、保護者・地域の要望に応えるのみではなく、活用して相互に協力できる関係が築ければよいと思う」と書いていただいた方がいました。子供たちの成長のため今後も学校・家庭・地域が協力していけたらいいなと思います。

【学力】「土曜授業が子供たちにとっては負担で、疲れている様子が見られた」には同感です。親以上の世代が経験している土曜半日より多い土曜5時間は、子供たち大変よく頑張りました。授業にも意欲的に取り組んでいます。ただ、中には内容についていけなかったり、落ち着いて受けられなかったりする児童もいて、個人差の大きさを感じます。さらに個々に応じた適切な指導ができるよう教師も力をつけていく必要があります。

【規律ある態度】全項目中最もAが少なく、CDが多かったのがNo.10の挨拶や言葉遣いでした。肯定的な意見もあったのですが、「旗振り当番で立っても児童からの“おはよう”の挨拶がほとんどない」が多数を占めました。学校へ来ると気さくで明るい子供たちですが、確かに朝の声は少ないようです。毎日見守りをしてくれている方も大勢います。少なくとも声をかけられたら声を返す、できたら自分から挨拶ができるように学校でも家庭でも話していく必要があります。他に交通ルール、時間を守ること、等々ありましたが、「大人がお手本となる行動をとること。挨拶したり決まりを守ったりすることで、

気持ちよく楽しく過ごせるのだということコミュニケーションを通じて伝えていくことが大切」と書いてくださった方がいました。その通りだと思います。

【健康・体力】「給食のメニューの献立がお手本になる。工夫されている。」「運動会ができてよかった」他、持久走大会、朝マラソン、学習カード、食育の授業についてご意見をいただきました。給食は配達・回収の時間が決められていて忙しいのですが、食事の時間が十分とれるように配慮していきたいです。体育の種目もより広い視点で選択していきます。

【生徒指導 教育相談】担任への相談、個人面談、花の子相談、相談員やスクールカウンセラー等が有効に活用されたという声が多くありました。今後も継続していきます。教師の言葉遣いや指導方法について、疑問や指摘もありました。わかる事例については、個々に対応させていただきましたが、校内だけではなかなか気づかないことも多々あるようです。調査以外の時にも、お気づきの点はお知らせいただけたら幸いです。

【その他】最後に、「毎日のように教師による性暴力の事件を耳にし、感謝はしているが不安もある。事件を未然に防ぐための対応を示していただけると安心します。」の意見についてです。保護者が不安になる気持ちはよくわかるし、教員としてこのような事件を耳にすると強い憤りを感じます。大多数の教員は子供たちに充実した学校生活を送ってもらおうと懸命の努力をしているのに、一部の人の行為で信頼が大きく揺らいでしまうからです。だからと言って他人事だとは思っていません。どこでも起こりうることだとの危機感を持って、教職員が誇りと気概を持って職務に励める環境を整えることが大切です。本校では、月に1回の職員会議の時に、不祥事防止のための倫理確立委員会（服務研修）を必ず行っています。トップダウンではなく、月ごとに教員が担当者になって研修内容や資料を決めてもらい、マンネリ化を招かない研修としています。冬休み前には、校長、教頭から県の教育長会議を受けて、わいせつ事案に特化して県の懲戒処分事例を検証したり、心理面の壁について学んだりしました。子供たちの心を深く傷つけ、保護者や地域の皆様との信頼関係を損なうことは断じて許されるものではありません。継続して取り組んでいきます。

回答を読んでいると、学校での取組に対して当然のことでも褒められるとうれしく、また頑張ろうと思いました。子供たちにも褒めてやる気をさらに強くさせることが必要なのだと感じました。いただいた評価やご意見は、今後の教育活動に活かしていきます。

達成 A: 8割以上、B: 6割以上、C: 3割以上、D: 3割未満（数値は%）

評価項目	No.	質問事項	A	B	C	D
組織・運営	1	学校教育目標の実現のため、様々な取り組みに努めている。	56.5	36.4	5.9	1.1
	2	学校は、児童の学習環境の整備に努めている。	55.8	39.0	4.4	0.8
	3	校長を中心として、全職員が協力して児童のために努力している。	62.4	31.2	6.4	0
と保護者・協力者の連携・協力	4	学校は、保護者や地域に学校行事や授業を公開している。	82.6	14.2	3.2	0
	5	学校は、学校の様子や成果を「学校だより・学年だより」「ホームページ」等を活用し、情報提供している。	82.8	14.8	2.3	0
	6	学校は、保護者や地域からの相談や要望に応えている。	60.5	31.1	7.7	0.8
学力	7	児童は、落ち着いて学習に取り組み、学習内容を理解しようとしている。	46.1	41.4	12.5	0
	8	学校は、教材や指導方法を工夫し、児童にわかりやすい授業を心がけている。	58.8	36.2	5.1	0
	9	学校は、児童の行動や能力を適切に評価している。	56.7	37.7	5.6	0
規律ある態度	10	児童は、進んであいさつをしたり正しい言葉づかいをしたりすることができる。	31.4	46.7	20.0	2.0
	11	児童は、学習のルールや生活の決まりを守ることができる。	44.1	46.9	8.3	0.7
	12	児童は、時間を守ることができる。	56.9	36.1	6.7	0.4
	13	学校は、規範意識を高めるための指導に取り組んでいる。	58.1	35.4	5.6	0.8
健康・体力	14	児童は、体育の授業や部活動又は外遊びに意欲的に取り組んでいる。	62.4	29.8	7.5	0.4
	15	児童が、健康な生活を送れるよう食育に取り組んでいる。	60.3	35.0	4.3	0.4
	16	学校は、児童の健康・安全や体力向上に向けた取り組みを行っている。	65.9	31.4	2.7	0
教育相談	17	学校は、児童の立場に立ち、一人一人の思いや願いを大切にしている。	52.4	38.8	7.2	1.6
	18	学校は、いじめや不登校をなくすため、児童への指導の充実を図っている。	50.2	41.3	6.5	2.0